

都市再生整備計画 事後評価シート
天龍峡地区

平成30年3月

長野県飯田市

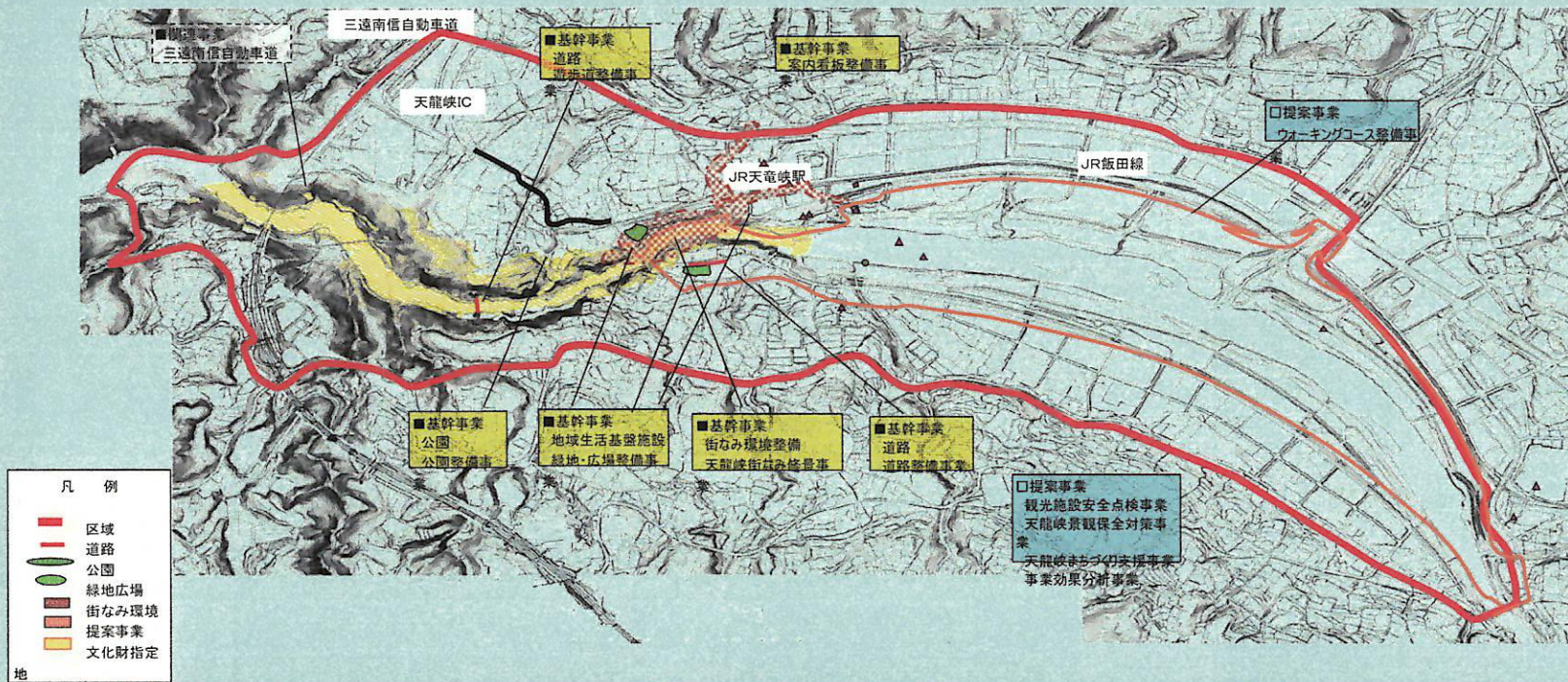
様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	長野県		市町村名	飯田市		地区名	天龍峡			面積	260ha		
交付期間	平成26年度～平成28年度		事後評価実施時期	平成28年度		交付対象事業費	205百万円	国費率	0.4				
1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業		事業名										
			基幹事業	道路(市道川路44号線、市道龍江207号線)、公園(児童遊園)、地域生活基盤施設(北緑地、姑射橋広場、大田下広場、情報板)、高質空間形成施設(市道龍江207号線)、街なみ環境整備									
	当初計画から削除した事業		提案事業	地域創造支援事業(観光施設安全点検、天龍峡景観保全対策、ウォーキングコース整備)、事業活用調査(事業効果分析事業)、まちづくり活動推進事業(天龍峡再生マネージャー委託)									
			事業名			削除/追加の理由			削除/追加による目標、指標、数値目標への影響				
	新たに追加した事業	基幹事業	・高質空間形成施設(市道龍江207号線) ・道路事業(市道川路44号線)			・事業効果の観点から現状で機能対応できると判断できたため ・点検の結果修繕ではなく、耐震化が必要の為他補助金にて実施する。			影響なし				
		提案事業											
交付期間の変更	当初	平成26年度～平成28年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響									
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値		目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
	指標1	天龍峡の観光客数	人/年	217,400	H24	350,300	H27	モニタリング	評価値	△	あり なし	観光客数の減少に歯止めをかけ一旦は増加させることができたものの、目標を達成できていないが、入込客は回復している。	H29.7
	指標2	天龍峡の歩行者数	人/日	1,020	H25	1,350	H28		1,008	△	あり なし	歩きやすく分かりやすい遊歩道・公園整備により、名勝地天龍峡観光の楽しみ方が観光客に適切に伝わったが、目標には届かずツアー客の増の検討をする。	H29.11
	指標3	案内人利用件数	件/年	189	H24	250	H27		192	△	あり なし	ガイド機能の整備や、おもてなしの向上の取り組みの成果はあるが、ツアー客の増にはつながらず目標達成できなかった。	H29.7
	指標4	天龍峡再生道路通過車両台数	台/日	1,959	H25	2,590	H28		2,702	○	あり なし	再生道路の開通により、天龍峡までのアクセスが良くなり、効果があった。	
	指標5	天龍峡を訪れた観光客の平均滞在時間	分/日	95	H25	120	H28		127	○	あり なし	遊歩道整備や活性化事業により、魅力が増え滞在時間が増えた。	
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値		目標値		数値		目標達成度※1	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
	その他の数値指標1												
	その他の数値指標2												
	その他の数値指標3												
4)定性的な効果発現状況	天龍峡まち歩き&ワークショップや学習会、観光のまちづくりに向けた組織体制の構築や活動の実施により、天龍峡への愛着と誇り、まちづくりへの参画意識の高揚や既存団体や個人などの自主活動へ良い影響が出ている。												
5)実施過程の評価	実施内容			実施状況				今後の対応方針等					
	モニタリング	なし		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった									
	住民参加プロセス	天龍峡まち歩き&ワークショップ等		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				● 地域住民主体によるまちづくりへ向け効果的な手法であるので、今後も継続していく。					
持続的なまちづくり体制の構築	観光のまちづくりに向けた取り組みを推進する組織の構築		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				● 天龍峡の観光のまちづくりに関係する団体のネットワークが構築でき、事業への主体的な取り組みが進みつつある。体制の確立、自立化を進める。						

様式2-2 地区の概要

天龍峡地区(長野県飯田市) 都市再生整備計画事業の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標		従前値		目標値		評価値	
『天龍峡百年再生』 住む人も訪れる人も、ゆったりと自然や歴史に触れ、人と人との交流を楽しみ、身も心も癒されるまちづくり ○天龍峡の魅力に触れる、親しまれる場の整備 ○広域の天龍峡の自然をゆっくり楽しめる場の整備 ○人と人との交流、ゆったり癒される場づくり 名勝地にふさわしい景観と、安全快適な天龍峡づくり	天龍峡の観光客数	単位:人/年	217,400	H24	350,300	H27	262,200	H27
	天龍峡の歩行者数	単位:人/日	1,020	H25	1,350	H28	1,008	H28
	案内人利用件数	単位:件/年	189	H24	250	H27	192	H27
	天龍峡再生道路通過車両台数	単位:台/日	1,959	H25	2,590	H28	2,702	H28
	天龍峡を訪れた観光客の平均滞在時間	単位:分/日	95	H25	120	H28	127	H28



まちの課題の変化	<ul style="list-style-type: none"> ■引き続き、地域経済自立度を高めるため、観光入込客数・滞在時間を増加させていくことが望まれている。 ■天龍峡の中心である名勝天龍峡の適切な保存管理の他、公開活用にあ資する、滞留させる施設、広域的に回遊を促す環境整備など新たな魅力づくりの創出、街なみ環境整備等に着手していく必要がある。 ■整備が進みつつある遊歩道として利活用も可能な三遠南信自動車道天龍峡大橋(仮称)をはじめ、三遠南信自動車道の全線開通やリニア中央新幹線(東京～名古屋間)開通による来訪を見通し、名勝天龍峡にふさわしい景観、安全・快適なまちづくりを一層進める必要がある。
今後のまちづくりの方策(改善策を含む)	<ul style="list-style-type: none"> □現時点で天龍峡の魅力を楽しみに来られている観光客を受け入れるとともに、整備が進む天龍峡大橋(仮称)や休憩施設の完成、三遠南信自動車道の全線開通を見通したまちづくりを推進する。 □貴重な文化財にふさわしく、文化財を生かしたまちづくりを一層推進する。 □子どもや高齢者に配慮した、天龍峡を目的地として、また中継地として訪れる観光客に対応できる観光地づくりを推進する。